

## 第104回総務委員会と経産省ヒアリング記録

1. 開催日時 平成23年6月16日(木)
- |       |            |          |
|-------|------------|----------|
| 12:30 | 第104回総務委員会 | 鉄鋼会館 806 |
| 15:30 | 経産省ヒアリング   | 鉄鋼会館 705 |
| 16:40 | 業界紙記者と懇談   | 鉄鋼会館 806 |

### 2. 第104回総務委員会

#### 出席者

吉里 勉 (総務委員長)  
高木 建 (理事長)  
酒匂雅信 (副理事長・東京支部長)  
林 光雄 (副理事長・東海支部長)  
木村秀明 (副理事長・大阪支部長)  
木村昭夫 (副理事長・九州支部長)  
柘野 (事務局)

#### 議 題

- (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について
- (2) 独禁法コンプライアンスの指針改訂について
- (3) 理事の交替について
- (4) 組合員・賛助会員の入会について
- (5) 第2回「全国青年交流会」の開催計画案について
- (6) 今後の会合予定について
- (7) その他

#### 経 過

吉里委員長の司会により議事が進められた。

- (1) 経済産業省ヒアリング資料の検討について  
事務局より標記資料について説明、一部内容修正の上了承された。  
(資料は別項参照)
- (2) 独禁法コンプライアンスの指針改訂について  
吉里委員長より、20年10月に制定した標記コンプライアンス

に関する指針について、「①経済活動の急速なグローバル化に伴う、国内外での競争法の執行強化や、②当組合の委員会活動に一部シャーマンから不参加の動きが出てきていること等により、今回指針の内容改正することにしたい」との提案があり、配布された原案をもとに審議した結果、別紙のとおり了承された。なお、改訂された新指針は、各委員会での説明や機関誌やホームページに掲載して、全組合員及び関係先に周知することとなった。

### (3) 理事の交替について

事務局より、掲題に関し、神鋼鋼板加工(株)より、社長交替（6月27日株主総会）に伴い、6月15日付け文書で理事交替の申し入れがあった旨報告があり、了承された。

なお、本件は後日臨時総会（書面）を開催し、全組合員に諮ることとなった。

神鋼鋼板加工(株) 代表取締役社長

(新) 東 和彦 氏

(旧) 八十川雅明 氏

### (4) 組合員・賛助会員の入会について

事務局より、組合員及び賛助会員の入会について以下の通り報告があり、了承された。

#### ①組合員

ダイコースチール(株) 齋藤幸雄 代表取締役社長

大阪市住之江区南港東8-1-41

#### ②賛助会員

エア・ウォーター(株) 塩見由男 常務執行役員

大阪市中央区南船場2-12-8

以上により、6月1日現在の会員数は、組合員170社、賛助会員23社である。

### (5) 第2回「全国青年交流会」の開催計画案について

事務局より、名古屋市で開催する第2回全国青年交流会の開催計画案について説明があり、審議の結果、了承された。

概要は以下の通り。

- ・ 目的 全国各支部の若手経営者及び経営幹部有志が一堂に会し、意見交換や事例研修等を通して見識を広める

とともに、情報の相互共有化を推進する。

- ・開催時期 10月14日(金)
- ・場 所 名古屋国際ホテル
- ・スケジュール

13:00～17:00 見学会 (バスコース)  
名古屋城、トヨタ産業技術記念館等をバスで  
巡回

17:00～18:00 情勢交換会

18:00～20:00 懇親パーティ

- ・参加費用 無料。  
全国シャ工組の「青年会の育成」予算を充当。
- ・案内先 各支部の青年会メンバーほか
- ・参加者予定数 50～60名

#### (6) 今後の会合予定について

本誌1ページ目の会合予定表をご参照ください。

### 3. 2Q経済産業省ヒアリング

出席者

経済産業省

小糸鉄鋼課長、葛岡課長補佐、石神係長、他

厚板シャ工組

高木理事長、酒匂東京支部長、林東海支部長、木村秀明大阪支部長、木村昭夫九州支部長、吉里理事・総務委員長、  
柘野（事務局）

経 過

最初に高木理事長より、「建機生産は震災前のレベルに比べ、90%程度まで回復し、メーカーは2Q以降さらに増産計画を立てており、予想以上の速さで明るさを取り戻している。しかし、建設関連は、低迷が続き、23年度もかなり低レベルで推移しそうである。昨年シャの稼働率は平均60～70%で推移したが、足元は50%前後まで落ち込んでいる。上期は前年度契約案件をこなしながら、何とか凌いでいるが、下期については新規案

件がなく、全く見通せない状況である。建材系シャーにとって悩みの種が尽きない。

シャー各社も 3 期連続で赤字が続くと非常に厳しく、経営へのダメージも極めて大きい。やはり対面業界のファブの仕事が上向きにならない限り、建材系シャーの需要は戻らない。このままいけば、いずれ統合再編、淘汰の流れが鮮明になってくるだろう。とくに、内需依存型、建設依存型シャーにとって、難しい模索が続きそうだ。例えば、会社の所有とオペレーションを分離し、共同在庫や共同配送等の工夫を導入することもこれからの一つの形態かもしれない。

また夏期節電問題は、個社対応で真剣に就業体制の変更を含め諸対策を講じる予定である。ただ流通加工業や輸送業など産業間にまたがる業種は同機化せず、なかなか休みが取れないで苦慮している。

今後も生き残りをかけて、我々シャーと、需要家、メーカーとの間で、ギリギリの状況が続くだろう。この不況打開に向けた行政からのご支援を引続きお願いしたい。」との要望が行われた。

引続き、各支部長より、地区ごとの需要動向に関する報告があり、その後、鉄鋼課との意見交換が行われた。

以 上